

【第67号】  
平成31年4月1日

福島県相双建設事務所

相双建設事務所  
マスコットキャラクター  
「どんぐりマン」

# 復旧復興だより



【この便りは、福島県相双管内の復旧・復興事業の進捗状況や地域づくり活動等の取り組みをお伝えするものです】

◆ 主要地方道相馬亘理線についてお知らせします!!

## ①新地工区



福島県相馬郡新地町

被災当時の状況



相馬亘理線（新地工区、原釜尾浜工区）は、東日本大震災の津波により大きな被災を受けたことから、ふくしま道づくりプラン（復興計画対応版）における『津波被災地域における復興まちづくりを支援する道路』として、平成24年度から道路改良舗装工事を進めております。



平成31年3月29日に、主要地方道相馬亘理線（新地工区、原釜尾浜工区）の道路がそれぞれ、一部通行開始（新地工区）L=約1.5km、通行開始（原釜尾浜工区）L=約0.7kmとなりました。相双建設事務所管内の復旧・復興事業は今後も続きますが、引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

◇復興状況のお知らせはふくしま復興ステーションをご覧ください。ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/>

## ◆建設工事安全対策重点計画におけるスローガン表彰が行われました！



表彰の様子

工事現場への安全管理並びに重点計画に対する意識高揚を図るために、建設工事安全対策重点計画における平成31年度「スローガン」について、相双建設事務所職員による提案、職員による投票により決定し、表彰式が行われました。

スローガンを常に意識し、無事故に努めてまいります。



平成31年度スローガン  
「やって安心！やらずに後悔！  
疑問に思えば再確認！  
災害防ぐは安全考動」

## ◆常磐道のならばスマートIC、大熊ICが開通しました！



開通式の様子

平成31年3月21日に常磐自動車道のならばスマートインターチェンジ（IC）が開通しました。ならばスマートICは、休憩施設接続型のETC専用ICとして、住民の生活環境や利便性の向上、観光来訪促進による地域経済活性化、救急医療活動の支援が期待されています。

また、3月31日には大熊インターチェンジが開通しました。

常磐富岡ICから浪江IC間に位置し、①復興への支援、②緊急時における避難路の確保、③除染・中間貯蔵施設事業の加速、④福島第一原発事故に伴う廃炉作業の進展、⑤消防・救急等に係る緊急車両による広域活動迅速性の確保等が期待されています。

## 認定こども園の竣工式が行われました！！



竣工式の様子

平成31年3月25日に広野町中央台に新たに整備された認定こども園で竣工式が行われました。当施設は幼稚園と保育園が融合した幼保一体型の施設で、ひろばーくと名付けられました。当施設がある広野町中央台は、文教の丘として現在整備されている地域であり、海が見渡せる良好な環境となっています。この春には、隣接するふたば未来学園の開校も控えており、今後、幼児から高校生まで、たくさんの子供達が賑わう地域になると期待されています。

『松ヶ平橋』の橋カードを『いいたて村の道の駅までい館』で絶賛配布中！！



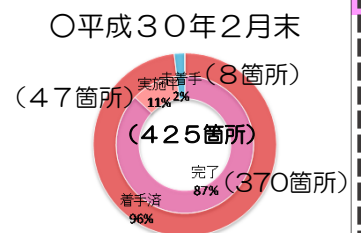
僕もほしい  
ドン！



## ◆東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況（平成31年2月末）

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

（帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。）



編集者：福島県相双建設事務所 企画調査課 TEL0244-26-1228 FAX0244-26-1197  
管内についての詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。

◇ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41370a/soso32056.htm>

◇Facebook <https://www.facebook.com/sousoukensetsu/>

◇Instagram [https://www.instagram.com/sousou\\_kensetsu/](https://www.instagram.com/sousou_kensetsu/)

みんな見て  
欲しいドン！



フェイスブック



インスタグラム